

学校名： 横浜市立万騎が原小学校

対象学年： 個別支援学級

① 学習指導案 学校指定様式がある場合は別資料として提出してください。

プログラム	No. 11 「 地域景観プランナーになろう 」
単元名 (全80時間)	はいざい(廃材)バンザ〜イ!! ~思い出の体育館をいつまでも~
学習のねらい	旧体育館の床材を活用した製作活動を通して愛着をもつとともに、自分たちでできることを考え、地域に主体的に関わろうとする。
学習内容	1 旧体育館の床材を使ってものづくりをする構想を確認する。 2 身の回りにある「木」でつくられているものを探す。 3 椅子やベンチを製作する。 4 作成した椅子やベンチを設置する。
参考資料	参考資料：「REYO」横浜市再利用材 コンセプトブック
準備品	準備品：作成に必要な道具や工具
実施場所等	実施場所：学校周辺、図工室、「みなまきラボ」など

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
4時間	○旧体育館の床材を活用してものづくりができることを知る。	・校舎は取り壊しになるが、旧体育館の床材を活用し、再利用することに価値を見いだせるようにする。	・自分の作りたいものに目を向けるのではなく、地域の役に立つことに喜びを感じることができる。
8時間	○地域を探検して「木」で作られているものや作れそうなものを見つける。	・まち探検を通して、「木」に興味をもち、自分たちの活動に興味や関心をもてるようにする。	・まち探検を通して、旧体育館の床材を使い、再利用することの意義や価値を見いだすことができる。
4時間	○床材を使って製作をする。	・安全に気をつけながら、図工で学習したことやこれまでの経験を生かして制作をする。	・自分たちの力だけで活動していくことが難しいことを知ることができる。
60時間	○設置場所にしてもらえそうな場所を探したり、交渉したりする。 ○プロの方に教えてもらいながら、製作をする。	・自分たちの活動に意義を見い出し、楽しみながら取り組むことができるようにする。	・地域の方にとって必要なものか否かを考えることができる。
4時間	○完成した作品を披露する。	・保護者の方や地域の方々にも自	・作品を届けるとともに、

		分たちの想いを伝えられるよう、完成披露の場を設ける。	自分たちの想いを伝えることで、地域に貢献することの喜びを感じることができる。
--	--	----------------------------	--

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立万騎が原小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
4時間	教室	○旧体育館の床材を活用してものづくりができることを知る。		・自分たちだけの秘密基地をつくりたい！
6時間	地域	○地域を探検して「木」で作られているものや作れそうなものを見つめる。		・「木」でできているものがたくさんある！ ・「〇〇」も「木」で作ったらいんじゃない？
62時間	教室 図工室	○床材を使って製作をする。 ○設置場所にしてもらえそうな場所を探したり、交渉したりする。 ○プロの方に教えてもらいながら、製作をする。		・床材が硬くて切れないよ！ ・プロの方に教えてもらおう！ ・さすがプロだね！
4時間	校内 地域	○完成した作品を披露する。		・自分たちの活動で地域の方の役に立てたかも！

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちの想いが継続できるよう、毎時間前時のふりかえりをていねいに行った。
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none">・個別支援級なので、なかなか全員が揃うということがなく、足並みを揃えたり子どもたちの想いを継続したりすることに困難さを感じた。
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none">・活動を始める前は自分ごと中心に考えることが多かったが、「地域の方の役に立つ」という視点をもつことで、他者への思いに気づけるようになった。
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none">・「地域の方の役に立つ」という視点をもったり共有したりする経験ができたことは、子どもたちにとってもとても良い経験になった。
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちの想いを大切にしつつ、人と関わる、人とつなげる、ことは難しいことがたくさんあった。地域に目を向け、今後も地域で生きる子どもたちのために様々な活動ができればと思っている。